

学校だより

四万十市立東中筋中学校
No. 28
令和4年1月13日(木)発行

— 3学期始まる —



1年の締めくくりの学期、3学期が始まりました。今年は例年より少し長い冬休みで、学期の始まりにも余裕があり宿題等、じっくり取り組めたのではないかと思います。提出物はきちんと出せましたか？

いよいよ3学期の始まりです、校長先生からも始業式で話がありましたが、目標に向けてチャレンジし、自己実現が達成できるようにがんばっていきましょう。

加えて、「自分がされて嫌なことは人にもしない」という、人としての生き方についてもお話がありました。身近な生活をしっかり見つめて行動していくようにしましょう。年度の最後でもあります、学校の歴史の最後でもあります。その学校史にふさわしい学期となるように全校でがんばっていきましょう。

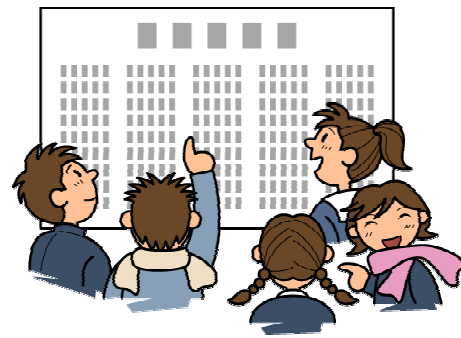
— 本格的に入試シーズン突入 —

1月7日から公立高等学校入学者選抜A日程の願書配布が始まりました。そして、本日より私立高等学校の入学試験も始まりました。2学期末より面接練習を始めた生徒もいよいよ試験を受けるタイミングとなりました。さあ、公立高等学校入学者選抜(入試)A日程まであと50日となりました!!

昨日から3年生教室の前に「あと50日」の掲示をしました。時間にして 24時間 × 50 = 1200時間
家庭で学習できる時間は、その時間数のおおよそ3分の1である400時間ほどでしょうか。

自己管理をしっかりしてその日程に向けて努力するしか道(方法)はありません。

3年生、校長先生からもエールが送られました。歯を食いしばってがんばっていきましょう。



— 1・2年生 交流学习 —

17・18日の両日に中村西中学校にて、統合に向けた交流学习をおこないます。1年生が17日、2年生が18日となっており、両日も午後からの交流学习です。今回の交流学习は教科学習です。これまでは「仲間づくり・人間関係づくり」が中心でしたが、初めての教科の授業です。この教科学習が一番戸惑いを感じることも多いかもしれません。

特に意見発表や班活動などは、大きな学校では積極性を出して活動する人も多く、その流れについていけるかどうか、不安に感じるかも知れません。しかし、自信をもっていつものように自分たちらしく頑張ってください。

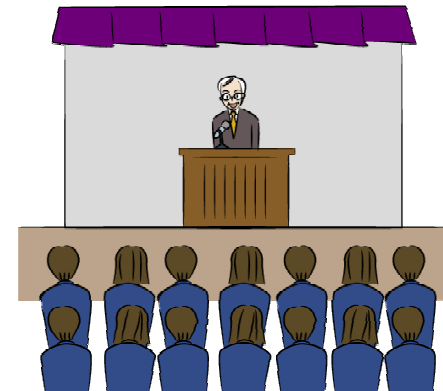
中村西中学校への移動は、バスで移動します。

— オール四万十 <教職員研修> —

1月26日(水)は四万十市全体の学校教職員研修(オール四万十)が開催されます。したがって、午前中の授業後、給食をとり下校となります。

車での迎えがある家庭については、午後1時には完全下校となる予定としていただきますのでよろしくお願いします。

— 休校(閉校)を迎える ひがなか② —



開校75年。長い歴史のある東中筋中学校ですが、昭和50年代後半にも統合問題で揺れました。

休校記念誌にもその新聞記事が載っていますが、当時、中村西中学校が開校される予定となった折、東中筋中学校も中村西中学校に統合してはどうかという当時の中村市の提案でした。

この案に多くの「反対」の意見がありました。当時、中村市だけではなく、多くの学校に問題行動等、「学校の荒れ」が見受けられる実態がありました。当時、大変落ち着きがあり学力が高く、スポーツも大変盛んで優秀な成績をとっていた東中筋中学校の姿があり、断固として統合理由(大規模校で質の高い学びの期待)に納得がいかに統合は白紙となりました。いつの年代も、非常に落ちついた学びがあり、四万十市だけではなく、幡多郡広域、高知県からも東中筋中学校の学力やスポーツにおける優秀な結

果は関係者からも語られる存在の学校でした。

特に平成に入ってからソフトテニス部は四国総体優勝や全国大会5位入賞、個人でも四国総体優勝等の輝かしい結果を残してきました。また、卓球部も高知県大会3位入賞をはじめ、私立校優位の中、公立校上位校として四国大会への出場を決めるなどこちらの部も輝かしい結果を残してきました。

それだけではなく、人権作文コンテストでは中学生の人権意識の高揚のため、法務省(国)から感謝状を送られたり、県展等での優秀表彰受賞など文化的分野でも大きな成果を出しました。

また、学習においても優秀で本校より輩出された諸先輩には、南極探検隊として派遣された方や、その分野で顕著な成績を収めている方やご活躍されている方が多くいらっしゃいます。

そして、地域をあげて部活動への参画を担っていただくなど、後輩や母校への愛着が高く、今でも諸先輩方が部活動の練習を見学・お手伝いなど関わっていただいています。

幡多郡内の多くの教職員からも「ひがなか ええ学校でねえ」とか「ひがなか 勤務したい学校や」の声が多く聞かれた学校でもありました。

— おしらせ 活動の記録 —

♪ 四国インドソフトテニス大会

(12月25・26日に松山市で開催) ※敬称略

男子個人戦	吉崎 瑚 ・ 伊賀 悠心	ベスト16	
	中山 聖悠 ・ 野村 凌大さん(中村西)		1回戦敗退
女子個人戦	加用 心桜 ・ 山本 優花	ベスト16	
	澤田 愛彩 ・ 藤元 七海さん(中村西)		1回戦敗退
男子団体戦	東中筋・中村西		1回戦敗退
女子団体戦	東中筋・中村西		1回戦敗退



連合チームとなり、うちの学校にいないキャラクターの生徒さんもいて、食事中などもたくさんの元気をいただき、ムードを盛り上げていただきました。今後に繋がる意味ある大会となりました。

女子チームの団体戦敗戦後、中村西中学校の主将から、涙で思いが伝えられました。

「ひがなかのようなプレイ(試合運び)ができずに申し訳ありません」その言葉を受けて、「そんなことない、一生懸命やっている」といった趣旨の言葉や、肩を抱き寄せ「ともに涙する」姿に感動しました。

その主将の後ろでは、主将の保護者様も自身の子どもの言葉に、同様に涙する姿がありました。引率した私(森)も、中村西中学主将の言葉に心奪われ、もらい泣きをしました。

負けても、とても大きな財産を得て、さすががしく次へのステージに両校が向かっていく気持ちを感じて会場を後にしました。本当にお疲れ様でした。

